

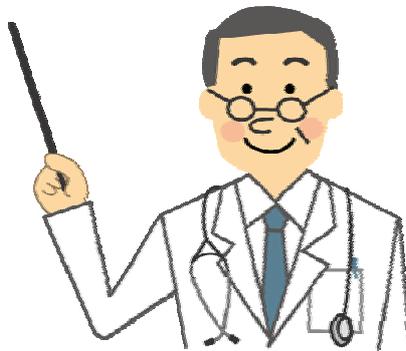
エイズ検査の勧め方

エイズ医療対策室室長 藤井輝久

エイズ/HIVの検査について

HIV検査ですが、大きくスクリーニング法と確認法があります【図1】。

まず“引っかける”ことを目的とした廉価なスクリーニング検査を行います。スクリーニングには粒子凝集(PA)法、酵素抗体(ELISAまたはEIA)法、免疫クロマトグラフィー法(IC法)があり、いずれも病原体そのもの(抗原やHIV遺伝子)を測定するものではなく抗体を測定するものです。多くの医療機関、保健所で導入されている“迅速検査”とはこのIC法にあたります。しかし、これらの方法は0.03-0.3%の偽陽性があります。ですから確認法が必要となります。



確認法はウエスタンブロット(WB)法とHIV遺伝子を増幅するPCR法があります。WB法は特異度は高いですが、陽性と判定するまでに数ヶ月掛かる場合があります。注意が必要です。ですから私は確認法にはPCR法を頻用しています。

スクリーニング法ですが、どの方法もHIV感染から抗体出現までに数週間掛かるために、「HIV感染していても検査で陰性」となる時期(ウインドウ期)があります。一般向けパンフレットには「感染の機会があってから3ヶ月経たないと陽性にならない」「検査は12週間経ってから」という記述を見かけますが、検査試薬も改良されており、現在使用している試薬では実際のウインドウ期は平均22日です。ですから8週間前後で判定しても十分と思われます。

HIV感染症の急性感染期には、発熱、リンパ節腫脹を主訴とした症状が起きることが多いです。症状がつよく、伝染性単核球症様症状を呈したり無菌性髄膜炎を起こしたりするケースもあります。

この時期は感染2～6週間以内であり、抗体を検出するスクリーニング法ではHIV感染症と診断することはできません。しかし確認法で用いられるPCR法であれば、そのウインドウ期は平均11日であり、診断が可能になります。しかし、PCR法は現在はいくまで「確認法」として保険収載されていますので、単独で行うと査定の対象になります。もし前述の症状のある患者の診療をされ、「もしかするとHIV感染症...」と思われたら、スクリーニング検査と同時にPCR法を行うことをお勧めします。

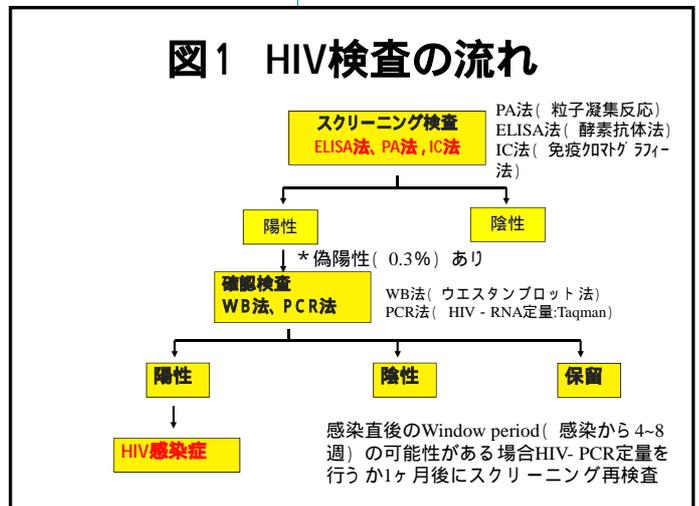
目次:

エイズ検査の勧め方 1、2

看護師研修アドバンスコースを開催しました

今年度エイズ医療対策室が開催した医療従事者向け研修会

図1 HIV検査の流れ



検査の勧め方

イベントや保健所などで検査を勧めるのは容易かと思えます。なぜなら来訪される方は“検査をしに来られた”方だからです。

しかし、問題は日常の診療現場で“HIV感染症かも知れない”と思われる患者さんに遭遇した場合です。HIV感染症を疑う症状・病態を【図2】に示します。



図2 HIV感染症を疑う疾患・病態

- ・ 若年者・壮年者の帯状疱疹
- ・ 梅毒、尖形コンジローマ、淋病、クラミジアなどの性感染症
- ・ 若年者・壮年者の結核、非ホジキンリンパ腫
- ・ カンジダ感染症（口腔内、食道）
- ・ 繰り返す肺炎
- ・ ウイルス性肝炎（A、B）
- ・ 赤痢アメーバ症、アメーバ肝膿瘍
- ・ 伝染性単核球症に類似した症状
- ・ 2週間以上続く不明熱
- ・ 慢性の下痢・体重減少
- ・ 慢性のリンパ節腫大
- ・ 慢性の血小板・白血球（リンパ球）減少症



検査を勧めるにはまず準備が必要です。HIV感染症はどういった疾患か、という理解だけでなく検査についてその特徴や偽陽性について理解しておかないといけません。検査を勧める時には不要かも知れませんが、事前に派遣カウンセリング制度を知っておくことも大切でしょう。さらにHIV感染症のパンフレットなどがあれば、それを使って説明できます

し、1回のお話だけでは理解できない場合に受検者にお渡しすることも可能ですから、是非入手しておいてください。

具体的な勧め方ですが、ポイントとして

1. 検査の必要性を伝えること
2. 検査を受けるメリットを伝えること
3. プライバシーを守ることを伝えることです。

検査の必要性を伝えること

医師がHIV感染症を疑い検査をすることは、他疾患に当てはめてみれば当然のことです。今の病状がHIV感染症に関係するものであれば、自信を持って勧めてください。

また勧めにくい場合には、他の感染症検査などと同時に勧めれば、“HIV感染症の検査だけ特別ではない”と分かって頂けることになるでしょう。

検査を受けるメリットを伝えること

HIV感染症はHIV検査をしないと診断できません。また最近はいよ治療薬があるので“早期発見”すれば、“死”に至る病気ではありません。“早く診断して早く専門の医療機関で治療してもらおう”これはエイズでも同じです。

プライバシーを守ることを伝える

HIV感染症は未だに職場はおろか家族や友人にも話せない、という方はおられます。ですから、検査結果は必ずご本人にだけお話し、了解がなければ家族であっても話さない、とお伝え下さい。電話で検査結果を伝えることも人違いを防ぐ観点からやるべきではなく、直接面接することを原則とします。

告知の仕方

陽性告知の場合が問題です。事前に結果を知っておき、派遣カウンセラーに待機して置いておく方がよいでしょう。陽性告知を受けた受検者（この時点で患者）は、いろんな思いが渦巻くと共に頭が真っ白になる感覚に見舞われる、と言います。

ですから最低限の情報（“HIV感染したからと言ってすぐ死ぬわけではない”“専門の医療機関で治療することができるしそこへ紹介できる”）を伝えるだけでもよいでしょう。またその時、理解しやすい患者向けパンフレットをお渡しすれば、その後患者が落ち着いたときにエイズについてもう1回確認することができます。



看護師研修アドバンストコースを開催しました

2011年1月22日に当院で「第6回看護師のためのエイズ診療従事者研修アドバンストコース」を開催しました。

この研修会は、当院で開催している「看護師のためのエイズ診療従事者研修」(初級コース)を修了した人を主な対象者として開催している研修会です。これまでは2日間の日程で開催してきましたが、負担なく多くの方に参加してもらいたいという気持ちから今年度は1日間だけの日程としました。

昨年は6名の参加者でしたが、今年は12名の研修生に参加いただきました。研修生は愛媛県1名、高知県2名、徳島県1名、香川県2名、岡山県3名、山口県1名、広島県1名、鳥取県1名でした。

研修プログラムは、以下のようにしました。

時間	内容
9:30 ~ 10:00	オリエンテーション 挨拶、自己紹介
10:00 ~ 11:30	講義『AIDSとSTDの予防、診断、治療』 講師：国立国際医療センター病院 本田美和子先生
11:40 ~ 12:40	講義『AIDS患者への看護』 講師：広島大学病院9階西病棟 大塚和歌子先生
12:40 ~ 13:40	昼食
13:40 ~ 15:20	事例検討3事例 (研修生による事例提示、2グループ)
15:20 ~ 15:50	事例検討まとめ
16:00 ~ 16:45	ディスカッション 『研修を実践に活かすには』 (活動目標と活動計画を立て、発表する)
16:45 ~ 17:15	研修会感想発表 修了証授与(西田副院長)

今年は「AIDSとSTDの予防、診断、治療」の講義を本田美和子先生にお願いしました。本田先生は、日本で最も多くのHIV/AIDS患者の診療をしている国立国際医療センター病院エイズ治療研究開発センターに勤務され、またHIV感染症の予防啓発にも尽力されておられます。

本田先生の講義は、受講生を魅了するカリスマ性があり、講義後に研修生は性感染症の予防やパートナー告知に対して、やる気をみなぎらせていました。

また、昨年までは『AIDS患者への看護』は、他病院の看護師へ講義をお願いしてきましたが、昨年度から当院の9階西病棟へHIV/AIDS患者に対しても疾患教育(患者教育)を始めていることもあり、今年度から当院の看護師へ講師を依頼しました。HIV/AIDS患者だけの専門病棟ではない状況のなかで、どのようにHIV/AIDS看護に取り組んでいるかという点が伝わったと思います。



また午後からの事例検討では、研修生から6つの事例を提示してもらいました。いろいろな視点から意見がでて、今後同じような患者さんが来た時にどう対応すればいいかということを実例を通して勉強できたと思います。



さらに、ディスカッション『研修を実践に活かすには』で、自分は病院に戻ってどのようにこの研修を生かすかという点を研修生が発表し、「患者さんへのケアでsafer sexへの支援を頑張る」「病棟で勉強会をする」など、研修生個人の立場で計画を立てました。

今回の研修会も、多くの参加者から「よかった」「勉強になった」という声を頂きました。中国四国ブロックのHIV/AIDS看護がより良いものになるように、今後の研修会も創意工夫していきたいと思っています。

(エイズ医療対策室 看護師 鍵浦文子)

今年度エイズ医療対策室が開催した医療従事者向け研修会

医師対象

第4回 医師のためのエイズ診療従事者研修
平成22年12月5日(日) 医科外来棟2階会議室

歯科医師対象

中国四国地方HIV陽性者の歯科診療体制構築のための研究会議
平成22年12月19日(日) 医科外来棟2階会議室

第1回広島県歯科医師会の会員・準会員及び広島大学
病院歯科研修医のためのHIV感染症に関する講習会
平成23年2月6日(日) 歯学部6階大講義室

薬剤師対象

第25回 抗HIV薬服薬指導のための研修会
平成22年7月31日(土)・8月1日(日)
ひろしま国際ホテル

第26回 抗HIV薬服薬指導のための研修会
平成23年1月8日(土)・9日(日) ひろしま国際ホテル

看護師対象

第19回 看護師のためのエイズ診療従事者研修
平成22年9月27日(月)・28日(火)
医科外来棟2階会議室

第20回 看護師のためのエイズ診療従事者研修
平成22年10月18日(月)・19日(火)
医科外来棟2階会議室

第6回 看護師のためのエイズ診療従事者研修 アドバ
ンストコース
平成23年1月22日(土) 医科外来棟2階会議室

心理職対象

エイズ派遣カウンセリング従事者実地見学研修
平成22年5月25日(火) 外来棟小会議室

ソーシャルワーカー対象

第6回 HIV/AIDSソーシャルワーカー・ネットワーク会議
平成22年10月2日(土)・3日(日)
三原国際ホテル、県立広島大学三原キャンパス

四国地方(医師、看護師、薬剤師、心理職、福祉職)対象

第1回四国地方エイズ医療体制構築のための連携会議
平成22年7月23日(金) ひろしま国際ホテル

第2回四国地方エイズ医療体制構築のための連携会議
平成22年12月26日(日) サンポートホール高松

平成22年度四国地方エイズ拠点病院コミュニケーション
スキル向上のための会議
平成22年12月25日(土)・26日(日)
サンポートホール高松

院内職員対象

平成22年度広島大学病院職員向けエイズ講演会
平成23年1月20日(木) 外来棟大会議室

出前研修

徳島大学病院HIV症例検討研修会
平成22年9月1日(水) 徳島大学病院

国立病院機構米子医療センターHIV研修会
平成23年2月1日(火) 米子医療センター

医療法人微風会 ビハーラ花の里病院「HIV看護と介
護」勉強会
平成23年1月6日(木) ビハーラ花の里病院

平成22年度香川県エイズ治療拠点病院等従事者研修
会・連絡会
平成23年1月21日(金) 香川県庁

島根大学医学部附属病院HIV症例検討会
平成23年2月8日(火) 島根大学医学部附属病院



<ご意見募集>

ご意見やご希望がございましたら、
エイズ医療対策室(5351)までお寄せください。